

和太鼓と共に

坂牧 颯人

はじめまして。坂牧颯人、二十三歳です。山古志で生まれ育ちました。山古志で仕事をしながら和太鼓奏者兼指導者として活動しています。小学校三年生の時に太鼓を初め、今年で十四年目を迎えました。

私が和太鼓に出会ったのは、小学校三年生の時に見た鼓童の公演です。鼓童は、佐渡を拠点に世界各地で和太鼓の演奏を行なっているプロの和太鼓集団です。

当時の私は、中越大震災の影響で避難生活をしていました。その時、鼓童は震災復興公演という公演で被災地を中心に新潟各地で演奏していました。私の避難先のすぐ近くの学校でも公演があったので見に行きました。

初めて生の太鼓の演奏を体で感じ、その演奏は、震災で落ち込んでいた私にすごく大きな力をくれました。

その時から、鼓童のメンバーになる、「人

の心に響く元気を与えられる演奏者」になり  
たいと思いました。

高校卒業後に佐渡に渡り、鼓童の研修所に入所しました。太鼓に囲まれて過ごした二年間。とても楽しくも苦しい時間でしたが何者にも代え難い経験と、かけがえのない仲間たちと出会うことができました。

残念ながら、体を痛めてしまい、三年前に研修所を辞め山古志に帰ってきました。鼓童のメンバーになれませんでした。「人の心に

響く元気を与えられる演奏者」になる」という夢は鼓童のメンバーでなくとも叶えられると思いますし、この夢が現在の活動の原動力となっっています。

これまで、新潟県内各地のイベントに出演して演奏したり、各地の太鼓グループや市内の小学校の授業で太鼓の指導をしたりしてきました。

それぞれの活動を通じてたくさんの方々と出会うことができました。今ではその方々と

の交流が活動のやりがいにもなっています。  
また、今年の七月から十一月までの間、市内の学校と太鼓の先生として関わらせて頂きました。何もかもが初めてで、担任の先生と四苦八苦しながら指導しました。とても大変でしたが、私の太鼓への思いを直接伝えることができるのがすごく楽しく、とても素晴らしい経験をさせていただけました。

今後の活動として、和太鼓の教室の主催、また太鼓グループの創設をしてみたいと思います。  
まず。太鼓文化を発展させたいというより、何か一つのことには熱中する事の素晴らしさを伝えたい。私自身、太鼓に救われて支えられています。そうです。そういうものを見つけられる手助けになればと思います。

私は今まで太鼓に支えられてきました。  
「人の心に響く、元気を与えられる」  
太鼓の力を借りて、今後自分らしく活動していきたいです。